

えすぽあ

espoir (エスポアール) = フランス語で「希望」

NO.53
2021.3

「男女がともにさんさんと輝けるまち 津山」の実現をめざして…

えすぽあ
インタビューしぢや
澁谷奈津美さん
(助産師)

津山を拠点として活躍されているかたつむり助産院の澁谷奈津美さんにお話を伺いました。

自己紹介をお願いします。

宮崎県出身で看護大学を卒業する時に、助産師、看護師、保健師の国家資格を取得しました。その後、助産師として鹿児島県の総合病院の産婦人科に4年、神奈川県川崎市の助産院に3年、鹿児島県徳之島のバースセンターに1年間所属しました。家族構成は、私と夫、長女と長男の4人で、夫の地元が和気にあるのでそのご縁で岡山にきました。かたつむり助産院は6年前に開業、当院で出産ができるようになったのは3年前です。

助産師とはどのような職業ですか

助産師は、妊婦さん、産後のお母さん、赤ちゃんの健康のためにお手伝いをする医療者です。また、お産だけではなく、いろんなライフステージに立っている女性や赤ちゃんを支える立場でもあります。助産師は人によって様々で、私は妊娠から子育て

てまでのケアを主体としていますが、中には更年期のケアをされる方もおられます。他にも、性教育をしていて、以前「さんさん」でも性教育の講演をさせていただいたことがあります。**助産以外の活動について教えてください**

『HELLO BABY』という産前産後ケアサービスで、令和2年の4月に立ち上げ、7月から活動をスタートしました。市から依頼を受け赤ちゃん訪問に伺う際、行く先々でお母さん達から「つらい」という声をいただきます。そんなお母さん達のために、今あるサービス以外になにかできないだろうかと考え立ち上げました。サービスの1つとして、まず弁当配達があります。弁当の提供をしてくれる地域食堂と連携し、私達が配達を行います。お母さんの家事の時間を短縮し、心身を休めたり、赤ちゃんに関わる時間を作

ることが目的です。また、配達時に顔を合わせて話ができるため、相手がヘルプの声を上げやすくなればいいとも思っています。他にも、オンラインによる無料の子育て相談があります。

相談はLINEメッセージでやり取りできるので、お母さん達からとても好評です。最近では、赤ちゃんにストローを使って飲ませるようにしたい…といった相談や、湿疹があつて…と写真を送ってこられる方もいました。こういったサービスを通して、一人で悩まずに気軽に相談できるようにしたら嬉しいです。

現在されている支援以外に、やってみたい企画や活動はありますか

これは、あつたらいいなという願望ですが、助産院でお産される妊婦さんに限らず、妊婦さんなら誰でも一人の助産師から「継続的なケア」を受けられるようになつたらいいなと思います。もう一つは性教育に関しても大切な話がたくさんあります。『性』に対して、正しい知識を当たり前に知ることのできる社会になつてほしいです。親御さんもそうですが、子ども自

らが性に関する相談にアクセスしやすい窓口ができればいいなと思います。

この記事を読まれている方にメッセージをお願いします

人生は一度きり、そして私は「産み方とは生き方」だと思っています。子育ての仕方、産む場所などを考えると、時にはやりたいことや好きなことを諦めることもあるかと思いますが、そんな中でも、まずは自分の気持ちを大切にしたいです。自分が思うようにいかないときでも、それを主体的にやるのか、やらされると感じるのかで、心の在り方が違います。心の在り方は身体の在り方です。自分を大切にすることは自分の健康に繋がり、そしてその後の子育てにいい影響を与えます。妊娠や子育てに関して、一人で抱え込む必要は全くなく、いつでも助けを求めてもいいんだ、ということを知ってほしいです。



(弁当配達の一例)

DV (配偶者暴力) について

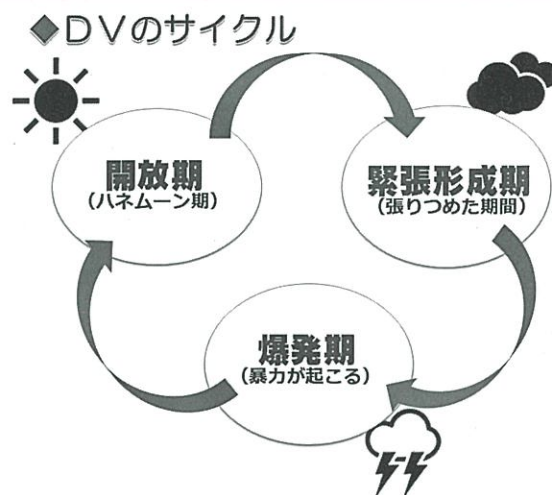
配偶者等から受ける暴力のことをDV（ドメスティック・バイオレンス）といいます。DVは近年よく耳にする言葉になってきましたが、DVってどんなもの？本当に存在しているの？それってただの喧嘩では？と思う方や、自分がDVをしている・されているという自覚がない方は少なくありません。

今回はそんなDVのサイクルや種類、身の回りに起きる影響、そして被害にあった場合どうしたらいいか、について理解を深めていただけたらと思います。

DVって？ DVのサイクルについて

DVとは夫婦や恋人などの相手に暴力を振るうことだけが目的ではなく、相手が自分と違う意見をもっていたり、思い通りに動かなかったり、言うことを聞かない時に、**相手を自分の思う通りに支配**することをいいます。

そんなDVには、3つの時期からなる、ある一定のサイクルが存在します。加害者がイライラしたり言葉で脅したり小さな暴力を振るう『**緊張形成期**』、加害者が抑制をせず激しい罵倒や暴力を行う『**爆発期**』、加害者が被害者に一時的に優しくし、ときには贈り物をして許しを求める『**開放期**』。なかには開放期がほとんどないことや、突然爆発期がくることもあります。ほとんどがこのサイクルを繰り返します。開放期があることで、被害者は「加害者を信じてみよう」「本当はいい人なんだ」「今度こそ加害者は変わってくれる」と思い、もう少し待ってみよう和我慢して、結果的に離れられなくなります。加害者も被害者が逃げられなくなるのを見て、支配する欲求を満たしていきます。これがDVのサイクルになります。



D V の 種 類

知っていますか？

◆身体的暴力

殴る、蹴る、腕を捻る、突き飛ばす、首を絞める、引きずり回す、物を投げつける 等

◆精神的暴力

大声で怒鳴る、何を言っても無視する、人前でばかにする、脅す、罵る、大切な物を壊す 等

◆経済的暴力

生活費を渡さない、仕事をやめさせる、お金を取り上げる、貯金を勝手に下ろす 等

◆社会的暴力

交友関係や電話・メール・手紙を細かくチェック、外出禁止をさせる、人付き合いを制限する 等

◆性的暴力

無理やりポルノなどを見せる、避妊に協力しない、性的な行為を強要する、AVに出演させる 等

DVによる子どもへの影響

DVは「夫婦（恋人）間の問題」と思っている方は少なくありませんが、実は子どもにも大きな影響を与えます。加害者から直接暴力を振るわれるようになったり、親をかばおうとして暴力に巻き込まれたり、被害により抑うつになった親から育児放棄（ネグレクト）や暴力を受けたりと、子どもへの直接的な被害は少なくありません。

さらに、児童虐待防止法では、DVを子どもに見させることは『児童虐待』であると定義しています。DVが起こる環境にいただけで、子どもは不安を感じやすくなったり、加害者から学んだ暴力的な行動を家庭外でとる可能性が高くなります。自分が我慢すれば済むという選択をする前に、一度勇気を出して相談してみませんか。



令和3年4月1日から 開設します！

津山配偶者暴力相談支援センター

令和3年4月1日から、津山市にも配偶者暴力相談支援センターが開設されることになりました。

以前から「さん・さん」でも毎週水曜日を中心に女性相談を受け付けていましたが、津山配偶者暴力相談支援センターでは相談受付の他、DV証明書の発行や被害者の自立生活促進のための情報提供など、被害者の方々へたくさんの支援ができるように準備を進めています。

当センターの支援について

- 相談 又は 関係機関の紹介
- 被害者の自立生活促進のための情報提供その他の援助
- 保護命令制度の利用についての情報提供その他の援助
- 配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書 (DV証明書) の発行
- 被害者を居住させ保護する施設の利用についての情報提供その他の支援

相談受付時間

月・水～金曜日

午前10時～午後6時

土・日曜日

午前10時～午後5時

※火曜日・祝日・振替休日、年末年始 (12月29日～1月3日) を除く

問

DV以外の相談 (ハラスメント・ストーカー等) はしてもいいの？



是非ご相談ください！当センターではDVに限らず相談を受け付けます。どんな悩みでも構いません。私たちにお聞かせください！

答

まずはご相談ください！

TEL (0868) 31-2552

※上記の電話番号は令和3年4月1日から受付を致します。

考えてみよう!!

けんか DVと喧嘩 何が違うの？

喧嘩とDVには大きな違いがあります。それは「対等な関係」か「対等ではない関係」かどうかです。相手と支配する側・される側という上下関係になっていたり、相手を思い通りに動かそうとコントロールしようとする関係は「対等ではない関係」となり、DVに値します。支配される側は支配する側に意見は言えませんし、する側も意見が食い違えばコントロールするために暴力 (DV) を振るいます。「相手を怒らせないように発言には気をつけよう」「怖いから自分の本音をいうことができない」などは相手との支配関係がなりたっている可能性があり大変危険です。



登録団体紹介

「さん・さん」には団体の登録制度があります。登録されると会議室の利用料が免除されるなどの利点があります。男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいる団体などが活動する場所として、活用を検討してみたいかでしょうか。

21netつやま

どのような団体が教えてください。

21netつやまは、2000年10月に発足した団体です。会員は、1991年から1999年まで活動していた『つやま女性フォーラム』の会員を中心に、男女共同参画の学習や情報の共有を目的に活動しています。

活動場所は津山地域ですが、団体は、全国的な市民ネットワーク『北京JAC（世界女性会議ロビイングネットワーク）』の9つある地域コーカスの一つです。月刊情報誌『北京JACマンスリー』は、世話人が企画・編集をして、個人会員、関係団体、地域コーカスに、年10回送付され、21netつやまでも情報を共有しています。

『さん・さん祭り』では「さん・さん」の登録団体として実行委員会に参加し、他の男女共同参画関係の活動をしているグループと共催で学習会を企画し、展示も作成してきました。また、「さん・さん」を会場として、生物多様性、北京女性会議など、いくつかの学習会を企画・運営してきました。

『つやま女性フォーラム』の時代に、みんなで作りたいたと夢見た『津山男女共同参画センター「さん・さん」』が、男女平等を広げ、つながる場所になるように活動していきたくと思います。

写真：さん・さん祭り2018学習会（講師 小宮山洋子さん）



新着図書紹介

さん・さん祭り2020 について

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、毎年恒例で行っていた『さん・さん祭り』をやむを得ず中止することとなりました。

第一回目のさん・さん祭り実行委員会で行った審議では全員一致とはいきませんが、それでもみなさんがさん・さん祭りをやり遂げたいという想いから実行委員会を続けていました。しかし、第四回目の実行委員会では、クラスターを伴う感染症の拡大を受け再度審議を行ったところ、全員一致で「今年度は見送ろう」という結果になり、中止の趣旨を報道させていただきました。前回もたくさんの方にご来場していただき、今回も職員一同盛り上げていきたいと思っておりますが、このような残念な結果となってしまいました。

来年度のさん・さん祭りは7月頃を予定しておりますが、一刻も早くウイルスの感染拡大の終息を願っております。



セックスワーク・スタディーズ

SWASH / 著 (日本評論社)
2019年

当事者視点で考える性と労働

総務部長はトランスジェンダー

岡部 鈴 / 著 (文藝春秋)
2018年

あやうく 一生懸命 生きる場所

タニタの働き方革命

谷田千里 / 著 (日本経済新聞出版社)
2019年

谷田千里 株式会社タニタ

あやうく一生懸命 生きる場所

ハ・ワン / 著 (ダイヤモンド社)
2020年

あやうく 一生懸命 生きる 場所

男女共同参画に関する図書・ビデオ・DVDを取り揃え、皆さんにお貸ししています。図書は1カ月以内で何冊でも、ビデオ・DVDは2週間以内で2本まで貸出できます。

編集・発行：津山男女共同参画センター「さん・さん」 〒708-8520 津山市新魚町17 アルネ・津山5階
TEL 0868(31)2533 FAX 0868(31)2534 Eメール sun-sun@city.tsuyama.lg.jp

えすぽあは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。